

COVID-19の世界的な感染拡大によって生まれた新しい社会的課題—オンライン会議／学習、ビッグデータ解析等—に伴い、大容量・高速データ通信などの研究開発が活発に行われています。その代表例が第5世代移動通信システム(5G)や5Gの次世代通信技術(Beyond 5G)であり、それらの通信技術に関連するマイクロ波・ミリ波技術の研究開発もまた、多くの研究機関において行われています。今回、それらの研究開発成果の発表の場として、「Special Section on Microwave and Millimeter Wave Technologies」小特集(2022年10月号)を企画致しました。

ぜひ、この機会に積極的な御投稿をお願い致します。

## 1. 対象分野

主な分野は以下の通りですが、これらに限定するものではありません。

能動素子, 受動素子

能動回路(発振器, 増倍器, 混合器, 増幅器, ミックスドシグナルIC, MMICなど)

受動回路(導波路, 伝送線路, フィルタ, 共振器, カプラ, メタマテリアル, RF MEMSなど)

マイクロ波／ミリ波／THz波システム(5G関連技術, インテリジェントモビリティ関連技術, センシング・イメージング技術, ヘルスケア技術など)

アンテナに回路／デバイスを集積化した一体化技術

マイクロ波フォトニクス

IC及び高周波モジュール実装技術, 高周波評価技術

無線電力伝送及びRFID技術

マイクロ波回路／デバイス等のシミュレーション技術

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー：8ページ、ブリーフペーパー：4ページ以内(厳守)とします。詳細はInformation for Authors ([https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html))を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

## 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

- ・ [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)より登録して下さい。
- ・ Web上で著作権の譲渡手続きを行って下さい。
- ・ 登録時には、必ず“Journal/Section”で[Special-MM] Microwave and Millimeter Wave Technologiesを選択して下さい。[Regular-EC]を選択しないで下さい。

## 4. 論文投稿締切日 2021年10月11日(月) 厳守

## 5. 問合せ先

西川健二郎

鹿児島大学 学術研究院 理工学域工学系

TEL [0992] 85-8421, E-mail: [nisikawa@eee.kagoshima-u.ac.jp](mailto:nisikawa@eee.kagoshima-u.ac.jp)

## 6. 小特集編集委員会

委員長 山本和也(三菱電機)

幹事 西川健二郎(鹿児島大), 岡崎浩司(NTT DOCOMO)

委員 佐藤 優(富士通研), ポカレル ラメッシュ(九州大), 小松崎優治(三菱電機), 三谷友彦(京大), 山本洋(住友電工), 池内裕章(東芝), 亀田 卓(広島大)

## 7. 重要なお知らせ

- ・ 招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2022年3月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。2022年4月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- ・ 採録となった論文は、掲載料が支払われた後すみやかにオンライン上で公開されます。詳細は[https://www.ieice.org/eng/shiori/page2\\_es.html#8](https://www.ieice.org/eng/shiori/page2_es.html#8)を御覧下さい。
- ・ 投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧下さい。 [https://www.ieice.org/jpn\\_r/member/join.html](https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html)
- ・ 参考文献の引用論文数はペーパー：30篇以上、ブリーフペーパー：15篇以上が必須です。